

輝く女性を応援し隊！第5回パトロール



平成30年10月2日「輝く女性を応援し隊！」による第5回目のパトロールを実施しました。

今回は、大村市東本町の「長崎県立・大村市立一体型図書館及び大村市歴史資料館（仮称）新築工事現場をパトロールさせていただきました。

本工事は、建築面積4,874㎡、高さ22.8m、地上6階建、鉄骨造の建物で、建物の完成を平成31年1月末、開館は平成31年11月末頃の予定となっています。

パトロールは工事概要の説明のあと、現場責任者と現場で作業されている女性技術者の先導のもと行いました。

最初に案内なされたのは、女性専用休憩室でした。



女性専用休憩室では隊員より施錠方法やお手洗いの場所などを女性技術者や事務職の方に確認をさせていただきました。

施錠は、最後の方が行き、お手洗いは、休憩室奥に配置されカーテンも取り付けられており、使用しやすい快適な環境となりました。



パトロールの前に！



ここは、『ウォーミングアップロード』と名付けられた場所。

朝礼広場の横に設けられたこの場所では、1日の作業を行うための身体づくり、起きたばかりの身体をほぐすために、朝礼時に現場作業員全員がこの道を通り、パイプを「跨ぐ」、「潜る」などの動作を行っているそうです。

また、現場作業員の命綱『安全帯』の状態もここで忘れずチェックしているそうです。

パトロール隊も跨いで潜って身体をほぐし、パトロールを開始しました。

現在は、外装工事はほぼ終わり、内装工事が主体となっているため、建築物内部を見させていただきました。

内装工事では、ウレタン断熱材施工や配線、内部足場解体作業など多くの現場作業員の方が作業を行ってられました。



本現場の内装担当として、現場打合せや資材の手配などに奮闘中の吉田房織物(株)長崎支社の青田さん。事務職から4年前に現場職となった青田さんは、「建設現場には女性が少ないので、常に緊張があります。」「休憩室やお手洗いが男性と一緒にというイメージが強かったが今は女性専用の更衣室やお手洗いもあるので仕事がしやすい環境になってきている」と話されていました。

パトロール後の講評では、整理・整頓が行き届き、女性専用休憩室や女性用お手洗いの配置などプライバシーに配慮した女性が使用しやすい環境が整備されていると好評価される、一方、現場内で使用していないグラインダーや携帯用丸のこ盤がコンセントに刺したままとなっているものが一部見受けられ、不意な起動によりケガをするため、使用しない場合は、コンセントから抜く習慣をつける。現場内で暗い箇所があり、また、段差もあるため、転倒や人との接触による災害を防止するため、照度に留意してもらいたい。ウレタンの吹付箇所は、火気厳禁となっていたが、非常時に使用できるよう消火設備を配置した方がよいなど隊員がパトロール時に気づいた点を指摘させていただきました。



